

2018年11月7日

岐阜県の後期高齢者の皆様へ

「自治体における保健事業・介護予防事業の効果 及び評価に関する研究」への協力をお願い

岐阜大学では、過去に特定健康診査（すこやか健診）を受けた皆様の試料・情報を用いた調査を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

調査の対象：2015年4月～2018年3月に医療機関において、特定健康診査（すこやか健診）を受けられた方

調査期間：倫理審査委員会承認日～2023年3月31日

調査目的・方法：

本調査の目的は、特定健康診査（すこやか健診）の結果を分析し、今後の保健活動を行う上での参考資料にすることです。

各自治体、及び岐阜県の事業担当職員から、以下に示す試料・情報を提供してもらい分析を行います。

調査に用いる試料・情報の種類：

1) 健診データ

身長、体重、BMI、腹囲、血圧、中性脂肪、HDL・LDLコレステロール、AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -G T（ γ -G T P）、空腹時血糖又はHbA1c値、尿糖、尿蛋白、クレアチニン、eGFR、

2) 問診データ

服薬状況、医療機関受診状況

外部への試料・情報の提供：

個人が特定される情報を削除して、パスワードのかかった状態で事業担当の保健師より提供してもらいます。分析は、岐阜大学医学部看護学科の小林和成の研究室内で行います。

調査組織：

岐阜大学医学部看護学科 地域看護学分野 准教授：小林和成

調査への参加辞退をご希望の場合

本調査に関して、新たに特定健康診査（すこやか健診）を受けていただく必要はございませんし、費用もかかりません。本調査に関する質問等ございましたら、以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該調査に用いられることについて、ご了承いただけない場合には調査対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、

本調査は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この調査への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって自治体や県等の各種事業、サービス等を利用する点において不利益を被ることはございませんので、ご安心ください。

調査から生じる知的財産権の帰属と利益相反

この調査による知的財産は、原則として調査者及び岐阜大学に帰属しますが、協議の結果として、各自治体や岐阜県等にも帰属し、調査対象者には生じません。調査の結果の解釈及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部看護学科

電話番号 058-293-3217 または 3218

氏名：小林和成

調査責任者

岐阜大学医学部看護学科 地域看護学分野 准教授

氏名：小林和成